

「生駒市手をつなぐ育成会」「生駒市肢体不自由児者父母の会」
「生駒市障害児・者を守る連合会」とのティーミーティング

とき・ところ 令和8年3月19日（木） 10：00～11：30、市役所会議室

参加人数 7人

市側出席者 市長、福祉部長 後藤、障がい福祉課長 金子、同課課長補佐 吉村、
広報広聴課長 古田

〔プログラム〕

- ・市長あいさつ
- ・参加者自己紹介と意見交換

〔主なご意見等〕

- ・昔は、障がいを持つこどもを家の中から出ないようにしていたが、外に出てもらおうようにと施設が作られ始め、今は設備も整ってきている。
- ・思いを伝えられるのは保護者同士だと思うが、情報がネットで簡単に入手できることもあり、会う機会や関わる機会が減ってきていると感じる。新しい人が入会するようにしていきたい。
- ・会として、障がいの理解啓発に力を入れていくとともに、権利擁護についても考えていきたい。
- ・知的障がいを持つこどもたちのことを、もっと知ってもらいたい。こどもたちの権利を守ってほしい。
- ・保護者が高齢になり、介護が大変で特に入浴が大変。親なき後のこどもの将来のことが心配。
- ・車いすだと、生駒駅周辺の駐車場の自動ドアの開閉時間が短く、通っているときにぶつかる。
- ・施設の職員の方が非常にいい方ばかりで、子どもとのコミュニケーションをしっかりとってくれている。しかし、人が変わると子どもに影響が大きいため、支援体制が長く変わらないような仕組みになればよい。
- ・避難行動要支援者名簿に、療育手帳 B の人は登録できないのか。登録させてもらえるとうれしい。
- ・生いきクーポンについて、CI-CA にチャージできないか。
- ・区分認定の際の意見書を書いてくれる医療機関が分からない。協力医制度のようなものができないか。
- ・身体障がい者を入浴させるのがとにかく大変。今はあけびにしかないなので、例えば福祉センターの現在使用していない部屋を入浴施設にしてほしい。
- ・災害時の車いすの前につけてリアカーのように引ける備品を避難所に設置してほしい。
- ・グループホームの家賃補助を市からもお願いしたい。
- ・福祉センターの障がい者のレクリエーションが来年度無くなると聞いたが続けてほしい。

<市長や担当職員から>

- ・皆さんのこれまでの活動が、今につながっている。これからますます皆さんのご経験が生きてく

る。

- ・権利擁護については、体制をしっかりつくる必要があることを痛感している。
- ・この一年は災害対策に力を入れてきたが、障がいをお持ちの方をどうサポートできるかはまだまだこれから。
- ・普及啓発など、効果的に届けるにはどうすればよいかなど、皆さんのお力をお借りしたい。
- ・自動ドアの話など、現場のフィールドワークが大切だと感じており、日常生活の場で実施していきたい。
- ・その他、ご意見等いただいたものについては、これから調べてできることから取り組んでいきたい。



▲ティーミーティングのようす